

主催：日本ソルフェージュ研究協議会
第12回 ワークショップ
記譜法の歴史から見る音楽史

——目に見えない「音楽」を、どのように書き表そうとしたのか——

我々が当たり前に使っている楽譜ですが、ここに至るまでには長い歴史があり、その変遷を紐解いてみると、音を視覚情報としていかに他者に伝えるかの呻吟が興味深く伝わってきます。時代と共に様々な工夫が凝らされた楽譜と一緒に読み解くことで、人々が音楽にいかにか魅了されてきたかを実感できることでしょう。五線譜のようだけども読めない楽譜と格闘することは皆様の知的好奇心を十分に満足させてくれることと思います。ご来場を心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺健二

日時：2025年9月7日(日) 14:00 開演(13:30 開場)

講師：宮崎 晴代

会場：東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス C400

対象：①対面

②アーカイブ配信（会員限定）

配信期間 2025年10月12日(日) 20:00～11月10日(月) 10:00



音楽は目に見えません。手に取って確かめることもできません。その音楽を二次元上に表示し、視覚化したものが「楽譜」です。9世紀に楽譜が誕生して以来、1000年以上にも及ぶ記譜法の歴史をたどると、時代ごとに特有の楽譜の書き方があり、その時代の音楽との間には、深く強い関係があるのです。この講演では、目に見えない音楽とそれを書き留めた楽譜との深く強い関係とは何かを探っていくことにいたしましょう。

宮崎 晴代 MIYAZAKI Haruyo

武蔵野音楽大学大学院修士課程音楽学専攻修了。フロリダ州立大学大学院博士課程で Certificate in Early Music を取得後、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員として記譜法を研究する。著書『バロック音楽の名曲』、共訳書『グロケイオ「音楽論」全訳と手引き』、『ミクロログス（音楽小論）：全訳と解説』など。NHK-FM「古楽の楽しみ」パーソナリティ。慶応義塾大学、武蔵野音楽大学、立教大学、昭和音楽大学等、各講師。音楽資料情報協会 (RILM) 委員長。

入場料：無料

(会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします)
一般 3,000 円、学生 1,000 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局
Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)
E-mail : ni.sol.ken@gmail.com
<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>



会員ログイン用 QR コード



オンライン視聴は以下の会員ログインの URL
もしくは左の QR コードからお入りください。
<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

Homepage



Facebook

